

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診報告様式

ベセスダシステム	略語	推定される病理診断	日母分類	取扱い（参考）
陰性	NILM	非腫瘍性所見、炎症	I, II	異常なし：定期検査
意義不明な異型扁平上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い	II/IIIa	要精検： ①HPVテストによる判定が望ましい。 陰性：1年後に細胞診HPV併用検査 陽性：コルポ、生検 ②HPVテスト非施行 6カ月以内細胞診再検査
HSIL除外できない異型扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い	III/IIIb	要精検：コルポ、生検
軽度扁平上皮内病変	LSIL	HPV感染 軽度異形成	IIIa	要精検：コルポ、生検
高度扁平上皮内病変	HSIL	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌	IIIa IIIb IV	要精検：コルポ、生検
扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌（微小浸潤癌を含む）	V	要精検：コルポ、生検
異型腺細胞	AGC	腺異形成、腺系病変疑い	III	要精検：コルポ、生検、頸管内膜細胞診または組織診
上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌	IV	要精検：コルポ、生検、頸管内膜細胞診または組織診
腺癌	Adenocarcinoma	腺癌	V	要精検：コルポ、生検、頸管内膜細胞診または組織診
その他の悪性腫瘍	other	その他の悪性腫瘍	V	要精検：病変検索